

診る場所、看取る場所

～医療・介護の支え手不足時代の

2022.

地域包括ケアシステムを考える～

2月5日(土)

参加無料

18:00 - 20:00 (Web入室開始17:30)

会場：オンライン (Zoom ウェビナー)

妻有地域にお住まいの方や
医療・介護に興味・関心を
お持ちの方など、どなたで
も下記アドレス又はQR
コードよりご参加下さい。
(事前申し込み不要)

参加アドレス

<https://care.tokamachi.life/symposium2225/>



シンポジスト

中島脳外科内科クリニック 院長

中島 拓 氏

山口医院 院長

山口 義文 氏

新潟県立十日町病院

患者サポートセンター長

角道 祐一 氏

十日町福祉会 高齢事業部長

田中 眞由美 氏

妻有福祉会 主任介護支援専門員

越井 久美子 氏

座長

新潟大学 十日町いきいきエイジング講座 特任教授

菖蒲川 由郷 氏

○主催

「妻有地域の医療と介護を考える会」

・十日町市中魚沼郡医師会

・新潟県立松代病院

・妻有地域包括ケア研究会

・津南町立津南病院

・新潟県立十日町病院

・新潟大学 十日町いきいきエイジング講座

○後援

・新潟県十日町地域振興局健康福祉部

・十日町市

・津南町

○開催趣旨

超高齢・人口減少社会の真っ只中にある妻有地域の真の課題は高齢者数の増加ではなく、働き手・支え手の減少にあります。地域の医療・介護分野においては、人材不足は既に現実のものとなっており、正に「支え手不足時代」へ突入していると言えます。

今後人材の枯渇が一層深刻化することが予想される中で、在宅・施設・病院がそれぞれ担う役割について、地域全体で理解を共有し、限られた医療・介護の人的資源をどの様に活用すれば、住民を支える地域包括ケアシステムを持続可能（サステイナブル）なものにすることができるかを地域として考えることが急務です。

そこでこのシンポジウムでは在宅・施設・病院という異なる場所で住民に対する医療・介護を支えてこられた専門家をシンポジストとしてお招きし、地域としてこれから目指すべき、「診る場所、看取る場所」の在り方を考えます。

○プログラム

18:00 開催の挨拶

新潟県十日町地域振興局健康福祉部長

若井 浩司 氏

18:05 基調発表

シンポジスト並びに座長

18:55 シンポジウム

シンポジスト

中島脳外科内科クリニック院長

中島 拓 氏

山口医院院長

山口 義文 氏

新潟県立十日町病院 患者サポートセンター長

角道 祐一 氏

十日町福祉会 高齢事業部長

田中 眞由美 氏

妻有福祉会 主任介護支援専門員

越井 久美子 氏

座長

新潟大学 十日町いきいきエイジング講座 特任教授

菖蒲川 由郷 氏

19:55 閉会の挨拶

十日町市市民福祉部長

樋口 幸宏 氏

総合司会：新潟大学 十日町いきいきエイジング講座 特任助教

白倉 悠企

○お問合せ

新潟大学 十日町いきいきエイジング講座

担当：白倉 悠企

電話：025-757-3622 e-mail: yshira@med.niigata-u.ac.jp